

☆☆☆☆ プラクトン情報 ☆☆☆☆

春先から霞ヶ浦北浦で増殖していたフォルミディウムは、現在、下表に示したように、霞ヶ浦では2000~5000個/ml、北浦では500個/mlとなっています。

春期におけるフォルミディウムの増殖は、4月~5月中旬にかけての時期が最も多くなっており、その後、急激に減少していくのが通例となっています。

また、このフォルミディウムによる影響も、これまでの調査では、水温が約20℃を越える頃から、みられなくなっているようです。

ここ数日間の水温は、昨年とほぼ同じ状況で、18~19℃となっています。

春の次に起こるフォルミディウムの増殖は、例年、7月~8月にかけてみられていますが、この時期におけるフォルミディウムの影響は、水温を目安にした場合、約25℃前後からと考えられています。

なお、内水面水産試験場では、フォルミディウムの増殖状況を常に把握できるように、霞ヶ浦および北浦で各1点づつ代表地点を設けて、原則として週一回の調査を実施する計画であります。

プラクトン情報 (平成7年5月16日現在)

現在の優占プラクトンの種類と量(個/ml)

プラクトンの種類 地点	藍藻類		珪藻類	水温 (℃)	DO (ppm)	透明度 (m)	
	フォルミディウム	オシトリア	シネトラ				
霞ヶ浦	牛渡	1,870	3,600	10,470	19.2	7.4	1.2
	内水試前	5,200	4,070	21,540	19.8	8.2	0.8
	手賀	2,670	3,670	11,340	21.2	9.2	0.8
北浦	江川	530	70	6,600	18.2	8.3	0.8

フォルミディウム発生量の推移

